

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：斉藤 親

事業名 府中所沢線 <small>（西武拝島線）</small> <small>（せいぶはいじません）</small>	事業区分 街路	事業主体 東京都
起終点 自：東京都小平市小川東町一丁目 至：東京都小平市小川東町三丁目	自：東京都小平市小川東町一丁目 至：東京都東村山市栄町三丁目	鉄道 0.9km 延長 街路 0.8km
事業概要 本事業は、町田市森野二丁目を起点として、東村山市久米川町五丁目へ至る全長約2.7kmのうち、小平市小川東町一丁目から東村山市栄町三丁目までの延長0.8kmについて、現道約9mから都市計画道路幅員2.4mへ拡幅改良するものである。また同時に西武鉄道拝島線との交差を限度額立体交差事業により行うものである。なお、交差形式は鉄道オーバードームである。		
事業の目的、必要性 本線は、多摩南北主要5路線の1つである。本要望箇所は、主要東西路線である新青梅街道と青梅街道を結ぶ約2.5km区間の中間に位置し、その前後約1.7kmの箇所においては一部電線共同溝工事を残し街路整備を終えている。このため、主要東西道路とのネットワークを形成する当該箇所の早期整備が必要である。また、西武拝島線との立体交差によりボトルネック踏切の解消も図るものである。		
全体事業費 107億円（限度額立体含む）	計画交通量 36,000台/日	
費用便益比	B / C 4.6	総費用 97億円 事業費：94.2億円 維持管理費：3.0億円
		総便益 449億円 走行時間短縮便益446.3億円 走行費用減少便益：2.9億円 交通事故減少便益：0.2億円
基準年		
平成15年		
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・現道等における混雑時旅行速度20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される ・現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される ・対象区間が、電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有 ・都市計画道路整備プログラムに位置づけられている 		
関係する地方公共団体等の意見 本路線の整備に関しては、西武拝島線の踏切が解消されること、主要東西路線とのネットワークが形成されることから、その整備効果は高く、早期の整備を要望されている。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。